



【KEYTRUDA+PTX+CBDCA(毎週)療法について】
(ペムブロリズマブ+パクリタキセル+カルボプラチン)



☺ 薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強が残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	目安の時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
ジフェンヒドラミン錠 (レスタミン)	過敏症の予防薬です	1日1回 内服	○							○							○							○
ペムブロリズマブ注 (キイトルーダ)	抗がん剤です	30分	☺																					☺
グラニセトロン注	吐き気止めです	30分																						
デキササート注	過敏症の予防薬です		☺								☺							☺						☺
ファモチジン注																								
パクリタキセル注	抗がん剤です	1時間	☺							☺								☺						☺
カルボプラチン注	抗がん剤です	30分	☺							☺								☺						☺
生理食塩液		15分	☺							☺								☺						☺

☺ パクリタキセル+カルボプラチン治療による副作用

注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
過敏症	痒みや顔のほてり、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
食欲不振・吐き気	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
関節痛・筋肉痛	肩や背中、腰や腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなることがあります。																					
口内炎	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかり行いましょう。																					
手足のしびれ	手足のしびれ、感覚が鈍などの症状が出ることがあります。																					
下痢	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水のような便が出る時はお知らせ下さい。																					
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)	髪質が少し変わることもありますが、治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																					
白血球減少(好中球減少)	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
赤血球減少(貧血)	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
血小板減少	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																					

☺ ペムブロリズマブ(キイトルーダ)の作用

- 私たちの体の中では、免疫細胞が、がん細胞などの異常な細胞を攻撃、排除しています。
- しかし、がん細胞は免疫細胞の働きにブレーキをかけ、その攻撃から逃れる事が分かってきました。
- この抗がん剤は、免疫細胞の働きにがん細胞からのブレーキがかからないようにします。
- この結果、免疫細胞は攻撃力を取り戻し、がん細胞を再び攻撃する事ができるようになります。

☺ ペムブロリズマブ(キイトルーダ)治療による副作用

- 軽度の皮膚障害(発疹、かゆみなど)は、早期におこることが多いです。
- 注意を要する副作用の一部(【】かっこ内は症状の例)
 - 間質性肺疾患【息切れ、息苦しい。咳が出る。発熱など】
 - 1型糖尿病【口が渇く。たくさんの水分が欲しくなる。尿の量や回数が増える。疲れやすい。体重が減る。吐き気、嘔吐。腹痛など】
 - 甲状腺機能障害【気力の低下。疲れやすい。まぶたが腫れぼたない。さむけを感じる。体重が増えるまたは減るなど】
 - 重症筋無力症【まぶたが下がったまま戻らない。物が二重に見える。手足に力が入らないなど】
 - 薬剤の注入に伴う反応(点滴中または投与後)【吐き気、嘔吐。注射部位のほてり、痛み。かゆみ。息切れ、息苦しい。発熱など】
- その他の副作用や副作用の詳細は、別にお渡しした説明冊子を参考にしてください。
- 今後の外来での治療に際して、自宅での症状確認の参考としますので、お渡しした説明冊子の治療日記に記入して下さい。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。